

創薬人育成サマースクール2024

令和6年7月6日(土)

東北大学青葉山キャンパス:青葉サイエンスホール
(理学研究科合同C棟2階、セブンイレブン横)

参加費 無料

製薬現場の第一線研究リーダーが語る創薬研究
対象:創薬研究者を目指す大学院生相当

13:00-14:20 村岡 照茂 氏 (中外製薬株式会社)
「中分子創薬研究プラットフォーム」
～ LUNA18の創薬研究を事例に～

中外創薬の中分子創薬研究プラットフォームに関して、KRAS阻害剤であるLUNA18の研究経緯とともに紹介する。中分子モダリティとして環状ペプチドを選択し、Hit取得確率向上のためmRNA displayを適応し多様性を確保、さらに環状ペプチドのdrug-likeness(膜透過性と代謝安定性を両立する条件)を実験的に特定し libraryに反映させ、druglikeなHitを取得できるプラットフォームを構築したこと。その結果、Hitから大きな構造変化無しに経口投与可能なLUNA18を創製するに至った経緯について紹介していただきます。

Ref. JACS 145(44), 24035-24051 (2023); JACS 145(30), 16610-16620 (2023).

14:40-16:00 寺内 太郎 氏 (エーザイ株式会社)
「睡眠障害治療薬を志向したオレキシン1/2受容体新規デュアルアンタゴニストlemborexant (デエビゴ) の創製」

オレキシンは1998年に発見された神経ペプチドであり、覚醒と睡眠状態を制御するマスターレギュレーターとしての生理的役割が示唆されている。Lemborexantは、ユニークな3置換シクロプロパン骨格を有すオレキシン1/2受容体デュアルアンタゴニストであり、オレキシン神経系を抑制する次世代不眠症治療薬として開発された。2019年の米国、2020年の日本に続き、これまでに15カ国以上で新規不眠症治療薬として承認されている。本発表では、lemborexant創出に至った研究開発の経緯について紹介していただきます。

Ref. MEDCHEM NEWS 28(3), 137-142 (2018); MEDCHEM NEWS 29(2) 69-74 (2019); J Med Chem 58, 4648-4664 (2015).

企業人が多くのメッセージを直接学生に伝えることで創薬研究の重要性とその魅力を知ってもらいたい。

<http://medchem.pod.ne.jp>

問い合わせ先

〒980-8578

仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

東北大学薬学研究科

土井隆行

TEL 022-795-6865

doi_taka@mail.pharm.tohoku.ac.jp